

令和2年度

経営状況説明書

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

北千住都市開発株式会社

東京都足立区千住3丁目92番地

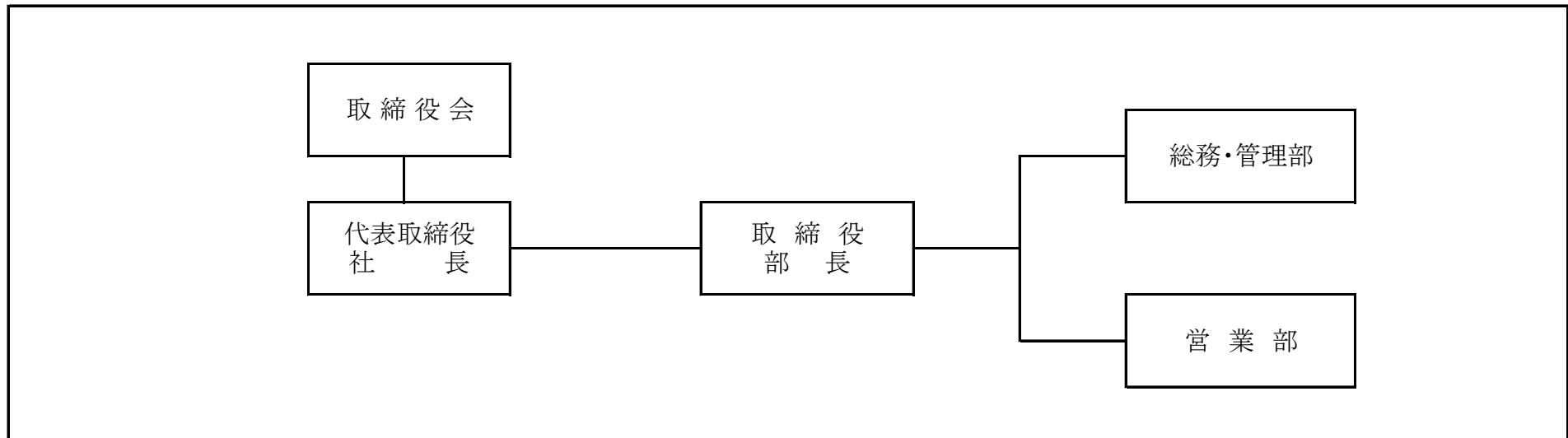
令和2年度公社等事業概要・収支決算説明書

1 概要説明

令和3年4月1日現在

名 称	北千住都市開発株式会社	所 在 地	足立区千住3丁目92番地
設 立 年 月 日	平成14年12月6日	代 表 者	代表取締役 宮 田 隆
職 員 数	8人	資 本 金	1億5千万円

2 組織機構



(1) 今後の経営方針

「安全、安心、環境にやさしい施設づくり」の推進
お客様のニーズを的確にとらえた施策を実施
ミルディス全体の資産価値向上と営業基盤の強化

(2) 令和2年度主要事業とその成果

新型コロナウイルスの影響が世界中に広がり、世界の景気は急速に悪化し、戦後最悪の景気後退という状況になっています。日本においても、昨年4月、今年1月そして4月に緊急事態宣言が3回出され、ワクチン接種はスタートするも先が見通せない状況になってきています。企業の営業自粛、人の移動制限などが行われ個人消費や生産、輸出などが悪化し厳しい状況が続いています。千住ミルディスにおいては、お客さま、お取引先さま、社員の健康等を考え感染症拡大の防止に努め、政府や自治体の要請に基づき休業、もしくは営業時間を短縮し、安全最優先で営業をしている状況が続いています。

こうしたなか、当期の取り組みとして人命最優先を念頭に、火災・事故などのリスク防止対策を徹底し、「安心、安全、快適」な施設づくりを継続推進して参りました。また、CO₂、ゴミ削減など社会貢献への継続取り組みで、千住ミルディスの「関係各位及びお客様との信頼関係の醸成」と「施設全体の資産価値の維持向上」を基本方針とし、具体的施策を実施いたしました。

まず管理面では、今年で7年目を迎える中長期修繕工事として、台風被害による屋上の補修工事やSDGSの取り組みとして、環境への負荷軽減と将来費用の負担軽減のため、ゴミ処理室の改修を行い、建物の資産価値向上に努めました。また、省エネ策として東京都のCO₂削減に関する環境確保条例への対応・節電の取り組みを継続してまいりました。2020年度は、新型コロナウイルスによる店舗の一部休業等の影響もあり、年間のCO₂排出量は9660トンで、前年比92%の実績でした。

営業面では、コロナ禍、約2ヶ月にわたりフードコートの一部休業や過度な集客策の自粛、各テナントへの家賃の減免など厳しい環境が続く1年であり、またテナント様の撤退もありました。緊急事態宣言の影響から、営業時間の変更を余儀なくされるなど通常の営業活動がままならない状態でした。そうした状況下、お客様や従業員の安全を第一に営業活動を続けてまいりましたが、年間ベースでは、会社売上高1億24百万（前年比87%）と前年を下回る結果となりました。

この結果、2020年度の事業実績は、売上高 2億53百万円(前年比93%)、売上総利益は90百万円(前年比89%)、販管費は71百万円(前年比103%)、営業利益は19百万円（前年比59%）、当期利益は15百万円(前年比64%)となりました。

(3) 貸借対照表

(令和3年 3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]	[638,817]	[流動負債]	[63,022]
現金及び預金	622,978	未払金	5,521
未収入金	4,260	未払法人税等	1,446
前払金	11,578	前受金	23,238
繰延税金資産	0	預り金	25,320
		仮受金	6,522
		未払消費税	975
[固定資産]	[1,352,094]	[固定負債]	[1,423,866]
(有形固定資産)	(54,630)	預り敷金	1,186,360
建物附属設備	51,532	預り保証金	237,505
器具備品	2,967		
構築物	130	負債合計	1,486,888
(無形固定資産)	(57)	純資産の部	
ソフトウェア開発費	0	[株主資本]	[504,022]
電話加入権	57	資本金	150,000
(投資その他の資産)	(1,297,405)	利益剰余金	354,022
敷金	1,024,240	その他利益剰余金	354,022
差入保証金	273,165	繰越利益剰余金	354,022
		(うち当期純利益)	15,344
		純資産合計	504,022
資産合計	1,990,911	負債・純資産合計	1,990,911

(注) 1. 有形資産固定の減価償却累計額 178,024千円
2. 会計処理は税抜き方式によっております

(4) 損益計算書

収 益 合 計	260,018
費 用 合 計	237,737
法人税、住民税及び事業税等	6,935
当 期 純 利 益	15,344

単位:千円

	科目	決算額	計上概要		
			項目	金額	内訳
収益の部	1 売上高	253,314	① 事務管理受託料	33,200	I 番館管理組合・団地管理組合事務管理受託手数料
			② 固定家賃等	214,025	フードコート・専門店固定家賃、共益費、倉庫使用料他
			③ 歩合家賃	6,088	フードコート歩合賃料
2 営業外収益	3,669	① 受取利息	3,269	店舗共有者への差入保証金の受取利息	
		② 雑収入	399	屋上自動販売機設置手数料、公衆電話収入	
3 特別利益	3,035	① 契約違約金	2,395	フードコートテナント契約満了前の退店に伴う違約金	
		② 補助金収入	640	テレワーク推進補助金	
費用の部	1 売上原価	162,480	① 共用部管理費	13,164	フードコート・専門店分の I 番館管理組合・団地管理組合の共用部管理費
			② 支払家賃	101,387	フードコート・専門店分の支払家賃
			③ FC運営委託費等	23,593	フードコート運営委託費他
			④ FC客席水道光熱費	14,867	フードコート客席水道光熱費
			⑤ FCテナント会費	5,059	フードコート販促費会社負担分、テナント会総務会費
			⑥ FC減価償却費	4,409	フードコート・専門店減価償却費
	2 販売及び一般管理費	71,757	① 給与手当	45,891	出向補填料、労働保険料
			② 事務所家賃	3,908	事務所支払家賃、共益費
			③ 減価償却費	2,728	事務所什器・設備減価償却費
			④ 修繕費	3,389	フードコート客席補修等
			⑤ その他経費	15,838	租税公課、保守メンテナンス費、支払手数料、業務委託費、事務消耗品費他
	3 営業外費用	2,860	① 支払利息	2,860	預り保証金の支払利息
4 特別損失	640	① 固定資産除却損	72	償却中資産の老朽化に伴う除却	
		② 固定資産圧縮損	568	補助金による取得資産の圧縮記帳処理	
5 法人税、住民税及び事業税	6,125				
6 法人税等調整額	810				